



御殿場市 都市計画マスタープラン



富士山のふもと 誰もが暮らしたくなるまち
～みんなに愛され、選ばれる持続可能なまちづくり～

令和3年3月
御殿場市

市長あいさつ



「富士山のふもと 誰もが暮らしたくなるまちづくりの実現に向けて」

～みんなに愛され、選ばれる持続可能なまちづくり～

本市では、都市計画の基本方針である「御殿場市都市計画マスタープラン」を平成23年3月に策定し、「地域活力の創出と安全・安心のまちづくり」を基本理念としたまちづくりに取り組んでまいりました。

策定から10年が経過し、その間、地球温暖化をはじめとする様々な環境問題や本格的な人口減少、少子高齢化の急激な進展、頻発・激甚化する自然災害の発生、高度経済成長期に整備された社会インフラの老朽化など、都市が抱える課題も大きく変化しております。

また、都市計画分野における新たな観点として、国連が定める“SDGs（持続可能なまちづくり）の推進”や、ICTやIoT、AIなどの最新技術の実装による“Society5.0”の実現のほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー継承など、令和の時代にふさわしい、新たなまちづくりのあり方が求められています。

このような社会変化に対応すべく、この度、市政の方針を示した本市の上位計画である「第四次御殿場市総合計画（後期基本計画）」の策定と並行し、『御殿場市都市計画マスタープラン』を改定いたしました。

本マスタープランは、本市のまちづくりの上位計画との整合により、概ね20年後の本市のあるべき姿を展望し、その実現に向けて、市民、企業・関係団体の皆様と行政などが関わり合いながら、協働して取り組むべき都市計画の方向性を明らかにする重要な基本方針となっています。

世界遺産富士山の麓にある、本市ならではの恵まれた環境や魅力を最大限に活用し、市民の皆様はもちろんのこと、来街者の皆様にも選ばれ、愛されるまちづくりの実現を目指し、『富士山のふもと 誰もが暮らしたくなるまち ～みんなに愛され、選ばれる持続可能なまちづくり～』を都市づくりのテーマに設定いたしました。

本マスタープランは、市民や事業者の皆様がまちづくりを検討・実践する際に、是非、お手に取っていただき、本市が目指すまちづくりの将来ビジョンを共有していただければ幸いです。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言を頂戴いたしました市民の皆様をはじめ、多大なるご尽力を頂いた御殿場市都市計画マスタープラン懇話会構成員の皆様、都市計画審議会委員並びに市議会議員の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

令和3年3月

御殿場市長 若林 洋平

御殿場市都市計画マスタープラン

目 次

序 章 都市計画マスタープランについて	1
序－１．都市計画マスタープランについて	3
第１章 都市を取り巻く社会情勢の変化	5
１－１．都市を取り巻く社会情勢の変化	7
第２章 上位計画の概要	9
２－１．上位計画の概要	11
第３章 都市の現況と課題	15
３－１．都市の現況	17
３－２．市民ニーズの把握	34
３－３．都市の課題	39
第４章 全体構想	43
全体構想の構成	45
４－１．都市づくりの理念・将来都市像・都市づくりの基本方針	46
４－２．将来フレーム	48
４－３．将来都市構造	49
４－４．都市づくりの分野別方針	53
第５章 地域別構想	71
地域別構想の構成と作成の考え方	73
５－１．御殿場地域	74
５－２．富士岡地域	84
５－３．原里地域	94
５－４．玉穂地域	104
５－５．印野地域	114
５－６．高根地域	124
第６章 実現化に向けて	133
６－１．実現化に向けて	135
参考資料	141

